

# 村山市消防団広報誌

第9号

平成24年1月発行 村山市消防団

## 高めよう！防災意識

がんばろう東北！  
がんばっぺ村山市！

2011.3.11 東日本大震災発生！



[2011.3.13 大船渡] 緊急消防援助隊の活躍（山形県隊）

## 村山市の水害への備え



積土のう工法



シート張り工法

消防団員は、最上川の氾濫を防ぐため、いろいろな工法で訓練をしています。



平成23年7月10日 碁点橋上流 4年に一度の水防訓練の様子（村山市消防団員）

市民の皆様には、消防団活動に格別のご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。  
昨年三月十一日に発生した東日本大震災では、各地域に甚大な被害をもたらし、多くの尊い生命が犠牲となりました。  
特に、消防職務遂行のため、危険を顧みず身を挺して活動した消防団員の多くが犠牲となっており、ご冥福を衷心よりお祈りしますとともに被災された多くの皆様方に慎んでお見舞いを申し上げます。  
我々消防団は、地域の安全、安心のため災害活動はもとより、各種災害警戒や防災訓練等の活動を展開しております。  
また、多種多様な災害に対応するため、各団員は一人ひとりが消防団の重要性を理解し「自らの地域は自らで守る消防団!!」の精神でより一層精進してまいります。  
今後は地域防災力の中核を担う消防団として、各地域の街づくり協議会、関係機関、各種団体と一体となって、自主防災意識の高揚や実践訓練に取り組んでいきたいと思っております。  
昨年は、一般家庭への住宅用火災警報器の設置が義務化されました。火災から家族の生命を守るためには、大変重要であります。  
住宅用火災警報器設置率一〇〇パーセント達成を是非お願いします。  
結びに、市民の皆様のご多幸とご活躍を願って年頭のあいさつとさせていただきます。



村山市消防団団長

西塚 茂 男

年頭のあいさつ

覚えておくと便利な

# 災害時のあれこれ



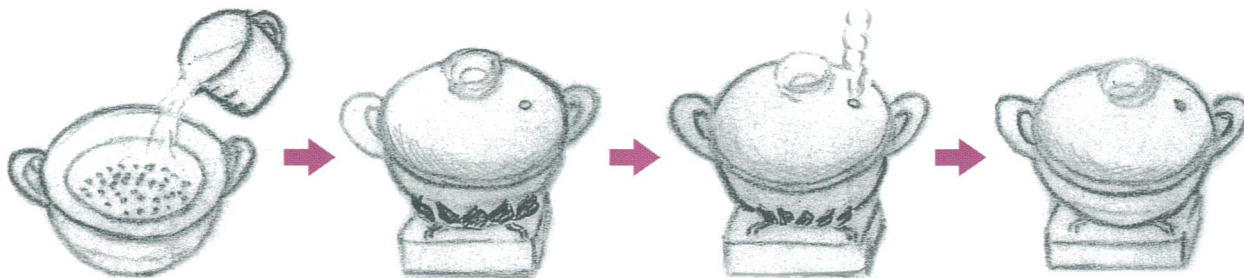
もし停電になったら…

## 土鍋でごはんを炊いてみよう

\*土鍋で炊くときは、米と同量もしくはやや多めの水を入れて20分ほど置きます。

\*ここでは、3合のお米を8号の土鍋（直径24cm、3人用）で炊いています。お茶碗で5杯分くらいです。

\*沸騰するまでの時間と、弱火にしてからチリチリ音がするまでの時間は、各自の火力と水量によって異なります。



①ボウルで米を洗い、同量もしくはやや多めの水を入れ土鍋に移す。  
※土鍋の底についた水は拭き取ってから火にかけます！

②20分ほど浸水させてから強火にかける。3～4分ほどすると、土鍋の中から「フツフツ」音が聞こえてきます。

③「フツフツ」という音が少し大きくなると同時に「シューシュー」と細かな水分と一緒に水蒸気が吹き出します。そこですかさず弱火にして、さらに4～5分炊きます。

④チリチリ音がしたら、火を止めて、ふたを閉めたまま約20分間蒸らします。

こんなものがあると便利

## 避難が必要になったら…

### 〈食品〉

- 飲料水
- 家族3日分の食料（保存のきくもの）

### 〈衣類〉

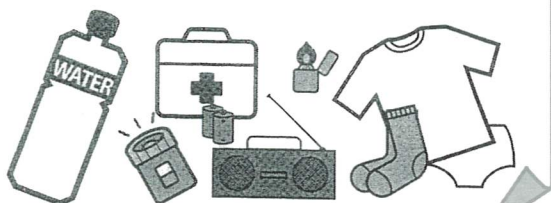
- タオル（大・小）       下着、靴下
- 動きやすい着替え       毛布

### 〈日用品〉

- 懐中電灯     ラジオ     電池     手袋
- カセットコンロ（予備ボンベも）
- マッチ、ライター     ローソク
- ビニール袋（大・小）     ロープ
- ガムテープ     生理用品     紙おむつ
- 常備薬     ちり紙、ロールペーパー
- ばんそうこう     せっけん
- 身分証の写し     保険証の写し     筆記用具

### 〈注意〉

これらはあくまでも一般的なものです。各家庭に合ったものをご用意ください。



### ワンポイント

吹きこぼすと、焦げたり固くなるので、吹きこぼれた場合は、吹きこぼれたくらいのお湯を追加して、鍋を少しゆすってみてください。

覚えておこう！

## 災害用伝言ダイヤルの基本的操作方法

「171」をダイヤルし、音声ガイダンスに従って伝言の録音再生を行って下さい。

※1 センター利用料について

伝言録音・再生を行うためのセンター利用料は無料です。

※2 通話料について

「メッセージの録音」操作時において、録音できる伝言数を超えていた場合、または、「メッセージの再生」操作時において、お預りしている伝言がない場合は通話料はかかりません。

覚えてください。災害時の声の伝言板  
災害用伝言ダイヤル 171



住宅用火災警報器  
の取り付けは  
お済みですか？

平成23年6月1日から義務化されました。



# 女性消防団の活動

消防訓練への参加、広報活動、各種行事の補助等があります。各種訓練、研修等を通じて消防に関する技術・知識の習得に努めています。



地区防災訓練

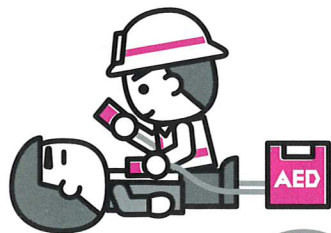


広報活動

村山市女性消防団員



消防学校研修



## 僕らの命を守る!! 子供救命士

2010年 69名  
2011年 222名  
291名誕生!!



ぼくらは、  
子供救命士になるため  
がんばっています。

## 親子で団員

- 父 鈴木慶美 (昭和57年4月入団・副団長)
- 兄 鈴木慶将 (平成19年4月入団)
- 弟 鈴木智英 (平成23年4月入団)

父…親子消防団員も悪くない。  
うれしかった。応援している。  
兄…自分を成長させるうえで、恵まれた環境です。少しでも父に近づけるように今後の訓練に励みたい。  
弟…将来は、父のようになりたいと思う。



## 夫婦で団員



袖崎

- 森 泰 (平成元年4月入団)
- 森 千里 (平成16年4月入団)

♥頑張っている夫・妻へ一言  
夫…新団員が入り、後輩の手本となるように頑張ってください。  
妻…消防へ出かける時は、とても嬉しそうです。体に気をつけて職務を全うしてください。

## 団員紹介



一分団  
横尾 健



二分団  
須藤和徳



三分団  
太田豊幸



四分団  
片桐 学



五分団  
松田郁也



六分団  
細谷奈津美



六分団  
三浦裕美



七分団  
森 隆行



八分団  
矢作 翔



シリーズ

# 分団紹介

## 第八分団

(大高根地区)

団員数：126名(うち女性団員2名)

第八分団長 **大田 一重**

### ★第八分団のよいところ

- 和気あいあいとしていて、チームワークがいい。
- みんなやる気があって、頼もしい。

### ★分団長から団員に一言

- いい団員、いい幹部に恵まれて、分団長は幸せです。



## 消防団員 大募集!!

## 第六分団

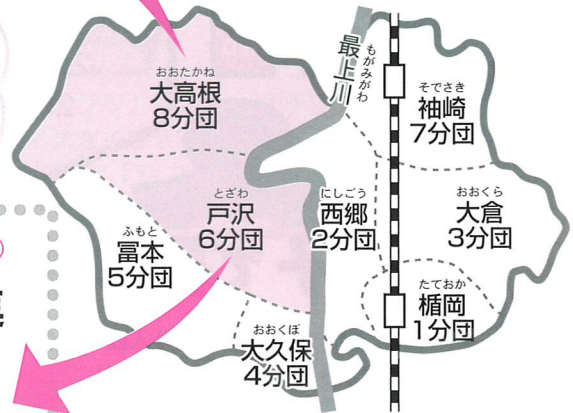
(戸沢地区)

団員数：112名(うち女性団員5名)

第六分団長 **児玉 進**

### ★第六分団のよいところ

- より地域密着型  
消防団と地区の連携で防災意識の高揚を図っています。小字単位で防災訓練(応急手当、消火栓放水訓練、消火器訓練)を行っています。
- 特に、第六分団の女性団員は優秀！  
全員が応急手当の普及員の資格取得。  
22年度には、女性団員だけの消防操法合格(全国初)
- 幹部の指導  
幹部が団員一人一人に合った指導を行い、団員は幹部を助け、協力して、一つの問題を全員で解決。
- 管内の防災活動  
管内に山形盆地断層帯があるため、3.11の教訓を活かし、地区の見回りや点検の強化もバッチリ！地区民との一体化で再確認。



### 編集後記

昨年は、全国的に大きな災害が続きました。「災難は忘れた頃に降ってくる」とよく言われますが、市民の皆様におかれましては「備えあれば憂いなし」の心で毎日をご過ごしていただけたらと思います。今年も、団員一丸となり活動してまいります。ご支援よろしくお願い申し上げます。

### 問合せ先

〈村山市消防本部〉 ☎ 55-2514  
 〈火の用心災害テレホンサービス〉 ☎ 55-0119  
 〈E-mail〉 syoubouhonbu@city.murayama.lg.jp

編集委員長	3分団	鈴木 千晶
副委員長	7分団	永岡美由紀
委員	1分団	村岡恵美子
	2分団	須藤 陽子
	4分団	篠沢 麻子
	5分団	青木 恵美
	6分団	笹原美智子
	8分団	高橋ちひろ

編集委員会

〈題字〉 笹原美智子